

2018年3月期 決算実績
2019年3月期 業績予想
概況資料

2018年5月10日

株式会社西武ホールディングス（9024）

<http://www.seibuholdings.co.jp/>

I. エグゼクティブ・サマリー

P2

II. 2018年3月期の主な取り組み

P7

III. セグメント情報及び営業指標

P9

IV. 決算実績詳細

P22

V. 2019年3月期 連結業績予想

P29

VI. 当期・次期の配当

P34

2018年3月期 決算実績

(金額単位：億円)

	2017/3期	2018/3期	対前期		2018/3期	対予想	
	実績	実績	(増減額・率)		予想	(増減額・率)	
営業収益	5,120	5,306	+186	+3.6%	5,420	△113	△2.1%
営業利益	624	642	+18	+2.9%	632	+10	+1.7%
償却前営業利益 [※]	1,081	1,155	+74	+6.9%	1,142	+13	+1.2%
経常利益	574	554	△19	△3.4%	546	+8	+1.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	475	429	△46	△9.8%	408	+21	+5.2%

※償却前営業利益は、営業利益に減価償却費及びのれん償却額を加えて算定しております。

決算実績ポイント

■ 営業収益

前期にあった、ハワイ事業における不動産売却、建設事業での大型工事の進捗・竣工がなくなったものの、東京プリンスホテル・グランドプリンスホテル高輪の営業再開、2016年7月に開業したザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町の収益寄与、東京ガーデンテラス紀尾井町における賃料収入の増加に加え、運輸収入の増加、(株)横浜アリーナの連結子会社化により増収。

▶ 3ページ

■ 営業利益

増収による増益に加え、前期に東京ガーデンテラス紀尾井町開業にともなう一時的な費用の計上があったことにより増益。

▶ 4ページ

<西武鉄道・鉄道業>

運輸収入 前期比+1.7% (定期+1.8%、定期外+1.6%)

▶ 10ページ

<ホテル業>

RevPAR 11,786円 (前期比+7.3%)
シティ12,732円 (同+6.9%)、リゾート9,889円 (同+7.0%)

▶ 12ページ

■ 経常利益

前期にNWコーポレーションにかかる持分法による投資利益の計上があったことなどにより減益。

▶ 23ページ

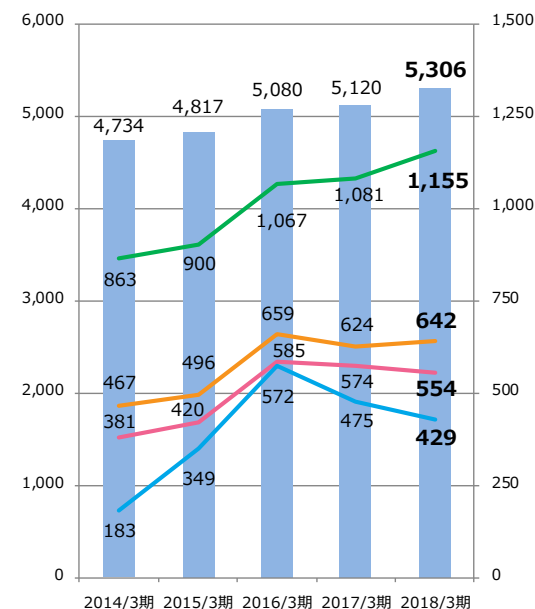
■ 親会社株主に帰属する当期純利益

上記要因に加え、前期に土地売却にともなう固定資産売却益の計上があったことなどにより、前期比△46億円。

▶ 22ページ

業績の推移

(金額単位：億円)



■ 営業収益 (左軸)
■ 営業利益 (右軸)
■ 償却前営業利益 (右軸)
■ 経常利益 (右軸)
■ 親会社株主に帰属する当期純利益 (右軸)

セグメント別営業収益

(金額単位：億円)

	2017/3期 実績	2018/3期 実績	対前期 (増減額・率)		2018/3期 予想	対予想 (増減額・率)		摘要
都市交通・沿線事業	1,564	1,620	+55	+3.6%	1,629	△ 8	△ 0.5%	鉄道業において雇用情勢の堅調な推移やメットライフドームでのイベント開催および秩父エリアのプロモーション強化などにより定期旅客・定期外旅客ともに好調に推移したことや、(株)横浜アリーナの連結子会社化などにより前期比で増収。対予想では、夏季の天候不良によるプール営業が不調であったことなどにより減収。
ホテル・レジャー事業	1,885	2,048	+163	+8.7%	2,107	△ 58	△ 2.8%	東京プリンスホテル・グランドプリンスホテル高輪の営業再開、2016年7月に開業したザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町の収益寄与のほか、RevPARが上昇したことなどにより前期比で増収。対予想では、RevPARが計画に届かなかったことなどにより減収。
不動産事業	537	622	+85	+15.8%	609	+13	+2.3%	2016年7月に開業した東京ガーデンテラス紀尾井町の収益寄与や、西武立川駅前でのマンションの販売などにより前期比で増収。対予想では、西武立川駅前での住宅販売や軽井沢・プリンスショッピングプラザの好調などにより増収。
建設事業	1,149	1,000	△ 149	△ 13.0%	1,074	△ 73	△ 6.9%	前期に大型工事の進捗・竣工があったことなどにより減収。対予想では、一部の土木工事において進捗が遅れたことや、戸建工事が減少したことなどにより減収。
ハワイ事業	231	153	△ 77	△ 33.6%	195	△ 41	△ 21.2%	マウナケアビーチホテルが堅調に推移したものの、前期に不動産売却があったことや、為替レートの変動により減収。対予想では、当期予定していた不動産売却の後ろ倒しなどにより減収。
その他	372	394	+21	+5.9%	382	+12	+3.2%	西武ライオンズにおいて各種営業施策の実施やクライマックスシリーズへの進出により観客動員数が増加したことなどにともない増収。
調整額	△ 621	△ 533	+88	—	△ 576	+42	—	主にグループ内工事の減少。
連結数値	5,120	5,306	+186	+3.6%	5,420	△ 113	△ 2.1%	

セグメント別営業利益・償却前営業利益

■ 営業利益

(金額単位：億円)

	2017/3期 実績	2018/3期 実績	対前期 (増減額・率)		2018/3期 予想	対予想 (増減額・率)		摘要
都市交通・沿線事業	268	272	+4	+1.7%	268	+4	+1.7%	鉄道業において電気動力費や修繕費などの費用が増加したものの、運輸収入が好調に推移したことや(株)横浜アリーナの連結子会社化などにより前期比で増益。対予想では、沿線レジャー業において夏季の天候不良によりプール営業が不調であったものの、バス業や横浜アリーナの稼働が好調だったことにより増益。
ホテル・レジャー事業	140	172	+32	+22.8%	190	△17	△8.9%	対前期では、戦略的な人員の増加や、新規事業に関連した販管費の増加など今後の成長に資する費用が増加したものの、増収により増益。対予想では減収により減益。
不動産事業	78	158	+79	+100.5%	142	+16	+11.4%	増収による増益に加え、前期に東京ガーデンテラス紀尾井町開業にともなう一時的な費用の計上があったことなどにより増益。対予想では、増収のほか賃貸業の費用の減少もあり増益。
建設事業	98	47	△50	△51.6%	40	+7	+18.8%	減収により減益。対予想では、土木工事などにおいて利益率が想定を上回ったことなどにより増益。
ハワイ事業	42	△20	△62	—	△4	△16	—	前期に不動産売却があったことや、プリンス ワイキキの減収により前期比で減益。対予想では、プリンス ワイキキの減収や、当期予定していた不動産売却の後ろ倒しなどにより減益。
その他	7	10	+3	+45.4%	3	+7	+249.4%	増収による増益。
調整額	△11	0	+12	—	△7	+7	—	
連結数値	624	642	+18	+2.9%	632	+10	+1.7%	

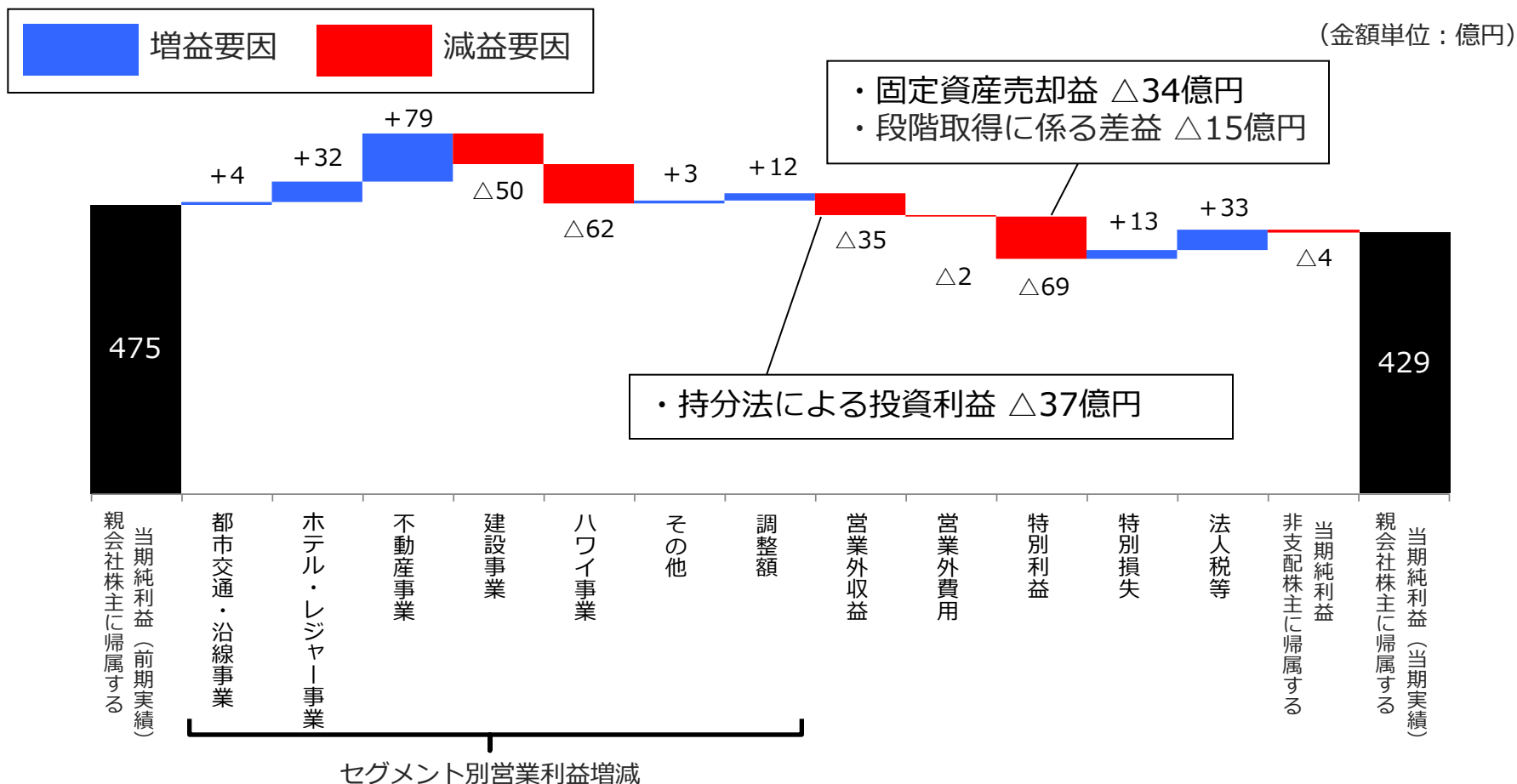
■ 償却前営業利益

(金額単位：億円)

	2017/3期 実績	2018/3期 実績	対前期 (増減額・率)		2018/3期 予想	対予想 (増減額・率)		摘要
都市交通・沿線事業	474	490	+15	+3.3%	484	+6	+1.4%	
ホテル・レジャー事業	269	327	+57	+21.4%	342	△14	△4.3%	
不動産事業	162	250	+88	+54.8%	235	+15	+6.7%	
建設事業	102	51	△50	△49.5%	45	+6	+14.5%	
ハワイ事業	60	0	△59	△98.4%	18	△17	△94.6%	
その他	33	39	+5	+17.6%	32	+7	+23.8%	
調整額	△21	△5	+16	—	△14	+8	—	
連結数値	1,081	1,155	+74	+6.9%	1,142	+13	+1.2%	

親会社株主に帰属する当期純利益 増減要因

営業利益は18億円の増益。一方で、前期にNWコーポレーションの持分法による投資利益や、土地売却にともなう固定資産売却益の計上があったことなどにより、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比△46億円（△9.8%）となった。



I. エグゼクティブ・サマリー	P2
II. 2018年3月期の主な取り組み	P7
III. セグメント情報及び営業指標	P9
IV. 決算実績詳細	P22
V. 2019年3月期 連結業績予想	P29
VI. 当期・次期の配当	P34

2018年3月期の主な取り組み

全体

- ・新規事業分野の創出を目的とし、当社内に「西武ラボ」を新設、オープンイノベーションプログラム「Biz Lab Accelerator 2017」に参加
- ・訪日外国人向けの会員サービスプログラム「SEIBU PRINCE CLUB emi」のプリンスポイント加算サービス開始（2018年2月1日）

都市交通・沿線事業

- ・西武秩父駅のリニューアル工事が完了、「西武秩父駅前温泉 祭の湯」開業（2017年4月24日）
- ・新型特急車両の基本デザインを決定（2019年春運行開始予定）
- ・西武新宿→拝島駅間で有料座席指定列車「拝島ライナー」の運行開始（2018年3月10日）
- ・40000系車両が第11回キッズデザイン賞『内閣総理大臣賞』（最優秀賞）を受賞
- ・太陽光発電事業の一環として「西武武山ソーラーパワーステーション」を着工（2019年2月発電開始予定）

ホテル・レジャー事業

- ・「東京プリンスホテル」「ザ・プリンス パークタワー東京」「グランドプリンスホテル京都」「大磯プリンスホテル」等リニューアルオープン
- ・宿泊特化型新ブランドを「プリンス スマート イン」に決定し、既存の3ブランドステートメントに追加（2020年夏頃「プリンス スマート イン 恵比寿」開業予定）
- ・会員制ホテル事業に参入、名称を「プリンス パケーション クラブ」に決定（2018年4月より会員募集開始）
- ・「StayWell Hospitality Group Pty Ltd」の事業取得を完了、運営開始（2017年10月4日）
- ・「名古屋プリンスホテル スカイタワー」開業（2017年10月2日）

不動産事業

- ・再開発プロジェクトの推進（グランエミオ所沢（Ⅰ期2018年3月2日開業、Ⅱ期2020年夏開業予定）、（仮称）西武鉄道池袋ビル（2019年春開業予定）など）
- ・（株）西武プロパティーズが、国道15号・品川駅西口駅前広場の整備に係る事業協力者に選定（2017年9月8日）
- ・賃貸住宅「エミリブ鷺ノ宮」入居開始（2018年3月23日）

ハワイ事業

- ・ハワイプリンスホテルワイキキの全面改装完了及び、ホテル名称を「プリンス ワイキキ」としてリニューアルオープン（2017年4月1日）
- ・「ハプナビーチプリンスホテル」が「ウェスティン」ブランドに加盟し、ホテル名称を「ウェスティン ハプナビーチ リゾート」として営業開始予定。全面改装は2018年6月完了予定。

その他

- 7
- ・メットライフドームエリアの改修工事着手（2021年3月竣工予定）
 - ・守山駅前近江鉄道ビル「cocotto MORIYAMA」開業（2017年8月1日）



40000系車両



大磯プリンスホテル
インフィニティプール



グランエミオ所沢



メットライフドームエリアの改修
ボールパーク化 イメージ

I. エグゼクティブ・サマリー	P2
II. 2018年3月期の主な取り組み	P7
III. セグメント情報及び営業指標	P9
IV. 決算実績詳細	P22
V. 2019年3月期 連結業績予想	P29
VI. 当期・次期の配当	P34

都市交通・沿線事業 概況

(金額単位：百万円)

	2017/3期 実績	2018/3期 実績	対前期 (増減額・率)		摘要
営業収益	156,494	162,056	+5,562	+3.6%	
鉄道業	105,123	106,354	+1,231	+1.2%	雇用情勢の堅調な推移やメットライフドームでのイベント開催および秩父エリアのプロモーション強化などにより定期旅客・定期外旅客ともに好調に推移し増収
バス業	25,531	25,937	+406	+1.6%	路線バスにおいてIC定期券が好調に推移したことなどにより増収
沿線レジャー業	20,798	22,095	+1,296	+6.2%	「西武秩父駅前温泉 祭の湯」の開業や、「としまえん」においてチケット単価が上昇したことなどにより増収
その他	5,041	7,668	+2,627	+52.1%	(株)横浜アリーナの連結子会社化により増収
営業利益	26,804	27,254	+450	+1.7%	鉄道業において電気動力費や修繕費などの費用が増加したものの、運輸収入が好調に推移したことや(株)横浜アリーナを連結子会社化したことなどにより増益
償却前営業利益	47,489	49,062	+1,572	+3.3%	

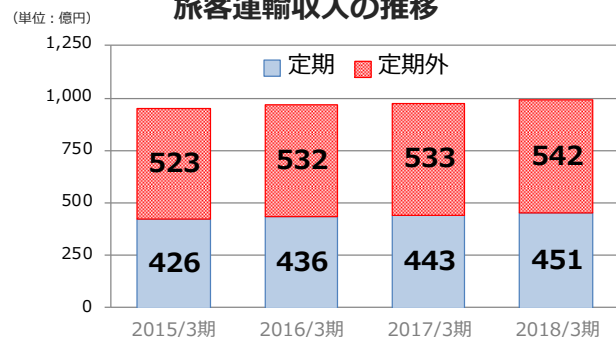
都市交通・沿線事業 鉄道業の運輸成績

輸送人員・旅客運輸収入（西武鉄道株式会社）

（人員単位：千人、金額単位：百万円）

	2015/3期	2016/3期	対前期 増減率	2017/3期	対前期 増減率	2018/3期	対前期 増減率
輸送人員	定期	390,084	+2.4%	405,526	+1.5%	412,680	+1.8%
	定期外	238,411	+2.0%	242,893	△ 0.1%	245,969	+1.3%
	計	628,496	+2.3%	648,420	+0.9%	658,650	+1.6%
旅客運輸 収入	定期	42,673	+2.4%	44,333	+1.5%	45,137	+1.8%
	定期外	52,374	+1.7%	53,356	+0.1%	54,211	+1.6%
	計	95,048	+2.0%	97,690	+0.7%	99,348	+1.7%
運輸雑収	4,098	4,160	+1.5%	4,021	△ 3.3%	4,097	+1.9%
収入合計	99,147	101,130	+2.0%	101,711	+0.6%	103,445	+1.7%

旅客運輸収入の推移



■ 定期

雇用情勢の堅調な推移により増加

■ 定期外

メットライフドームでのイベント開催、秩父エリアの
プロモーション強化などにより増加

ホテル・レジャー事業 概況

(金額単位：百万円)

	2017/3期 実績	2018/3期 実績	対前期 (増減額・率)		摘要
営業収益	188,544	204,854	+16,309	+8.7%	
ホテル業（シティ）	105,319	119,776	+14,456	+13.7%	東京プリンスホテル、グランドプリンスホテル高輪の営業再開、2016年7月に開業したザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町の収益寄与により増収
ホテル業（リゾート）	38,826	40,677	+1,850	+4.8%	一部事業所の改装にともなう営業休止の影響があったものの、稼働率の上昇によりRevPARが上昇し、食堂部門も好調に推移し増収
ゴルフ場業	12,266	12,575	+309	+2.5%	コンペの獲得や個人の集客などにより増収
その他	32,132	31,825	△306	△1.0%	
営業利益	14,092	17,299	+3,207	+22.8%	戦略的な人員の増加や、新規事業に関連した販管費の増加など今後の成長に資する費用が増加したものの、増収により増益
償却前営業利益	26,969	32,739	+5,770	+21.4%	

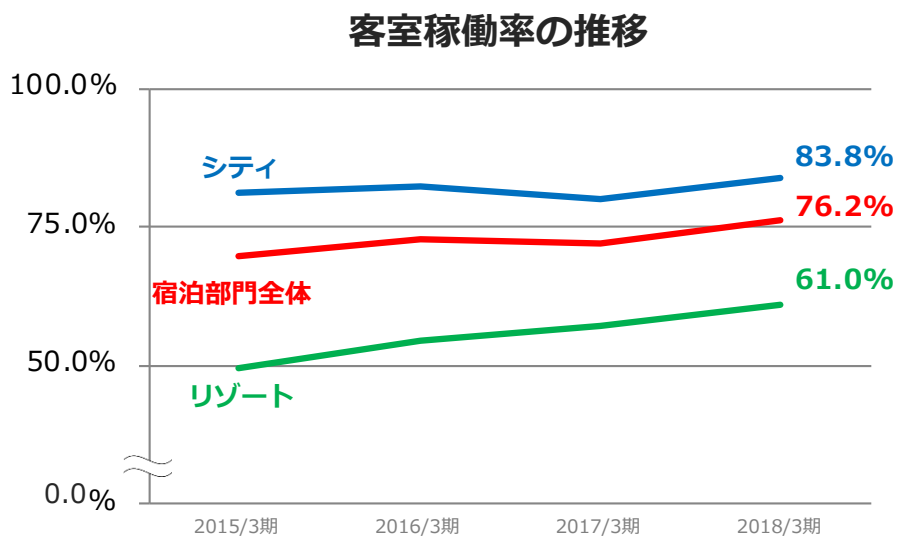
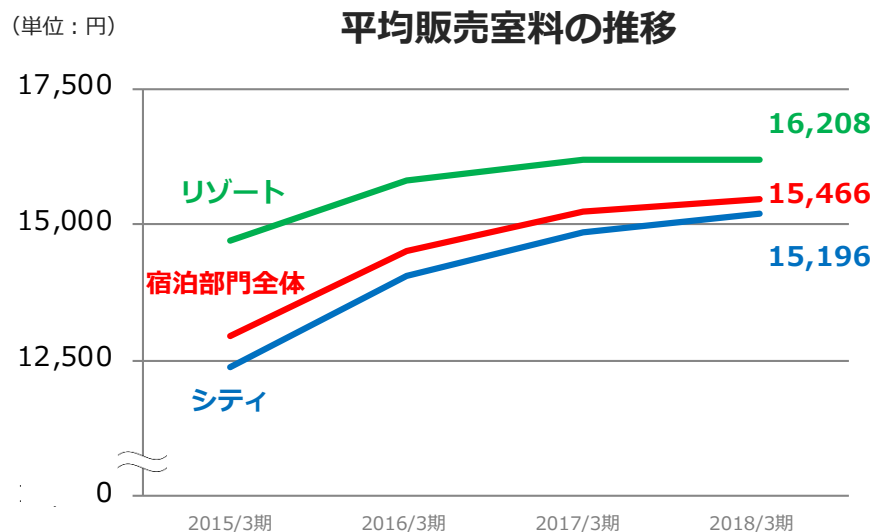
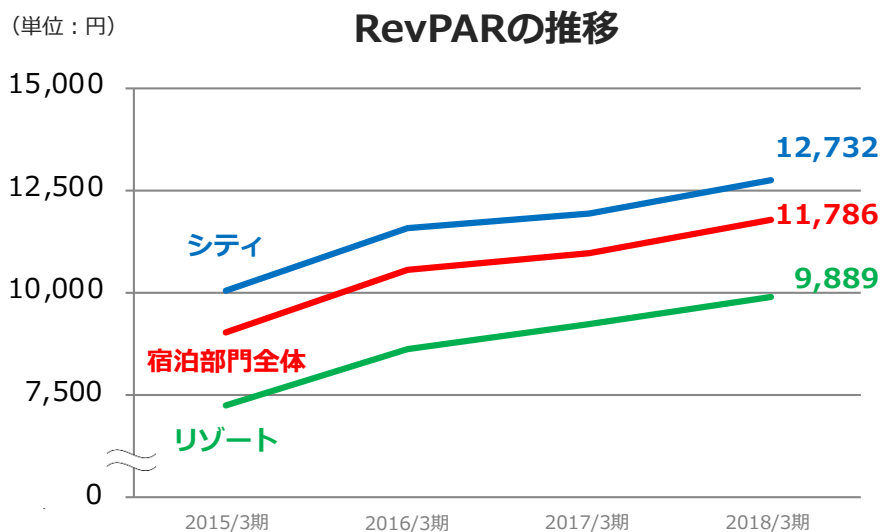
ホテル・レジャー事業 営業指標の推移

ホテル業の営業指標（株式会社プリンスホテル）

(RevPAR・平均販売室料：円)

		2015/3期	2016/3期	対前期 増減率	2017/3期	対前期 増減率	2018/3期	対前期 増減率
RevPAR	シティ	10,056	11,588	+15.2%	11,911	+2.8%	12,732	+6.9%
	高輪・品川エリア	10,543	12,500	+18.6%	12,873	+3.0%	13,354	+3.7%
	リゾート	7,245	8,626	+19.1%	9,243	+7.1%	9,889	+7.0%
	軽井沢エリア	16,432	18,824	+14.6%	19,376	+2.9%	20,980	+8.3%
	宿泊部門全体	9,045	10,562	+16.8%	10,980	+4.0%	11,786	+7.3%
平均販売室料	シティ	12,370	14,054	+13.6%	14,873	+5.8%	15,196	+2.2%
	高輪・品川エリア	12,427	14,429	+16.1%	14,808	+2.6%	14,830	+0.1%
	リゾート	14,694	15,824	+7.7%	16,198	+2.4%	16,208	+0.1%
	軽井沢エリア	30,512	31,619	+3.6%	30,894	△ 2.3%	31,713	+2.7%
	宿泊部門全体	12,960	14,513	+12.0%	15,239	+5.0%	15,466	+1.5%
客室稼働率	シティ	81.3%	82.5%	+1.2pt	80.1%	△ 2.4pt	83.8%	+3.7pt
	高輪・品川エリア	84.8%	86.6%	+1.8pt	86.9%	+0.3pt	90.0%	+3.1pt
	リゾート	49.3%	54.5%	+5.2pt	57.1%	+2.5pt	61.0%	+4.0pt
	軽井沢エリア	53.9%	59.5%	+5.7pt	62.7%	+3.2pt	66.2%	+3.4pt
	宿泊部門全体	69.8%	72.8%	+3.0pt	72.1%	△ 0.7pt	76.2%	+4.2pt

ホテル・レジャー事業 営業指標の推移

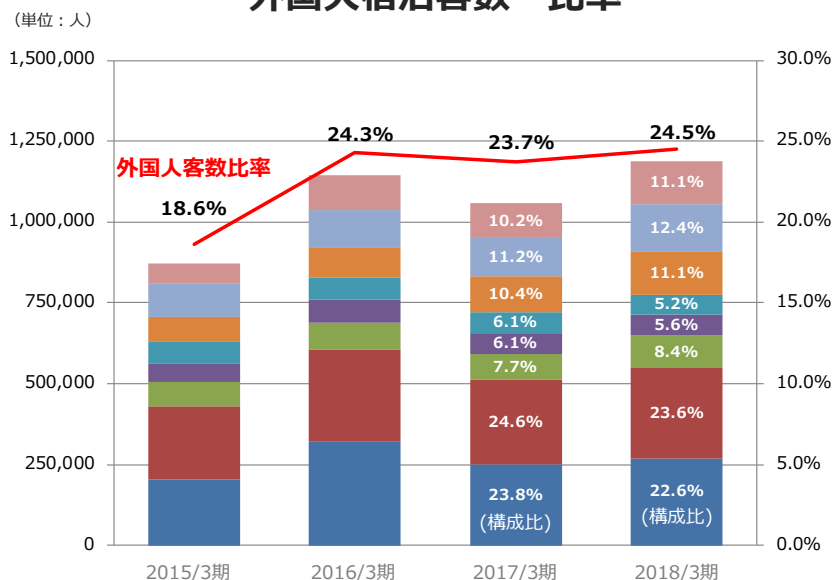


ホテル・レジャー事業 インバウンドの動向 (宿泊客数・室料収入)

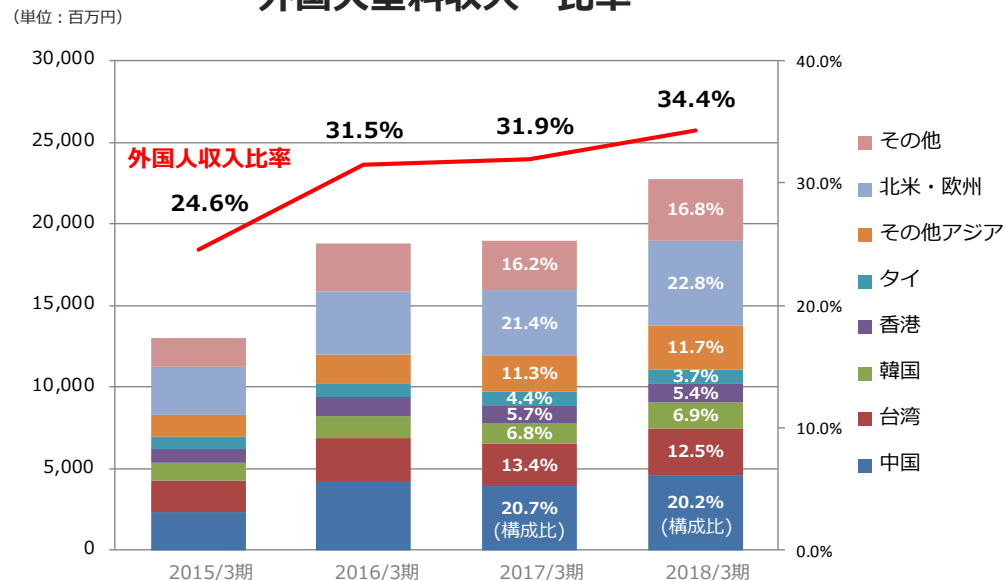
(人員単位：人、金額単位：百万円)

		2015/3期	2016/3期	対前期	2017/3期	対前期	2018/3期	対前期
宿泊客数 の内訳	邦人客	3,816,942	3,565,316	△ 251,626	3,401,013	△ 164,303	3,652,410	+ 251,397
	外国人客	871,174	1,142,633	+ 271,459	1,056,658	△ 85,975	1,186,777	+ 130,119
	計	4,688,116	4,707,949	+ 19,833	4,457,671	△ 250,278	4,839,187	+ 381,516
室料収入	外国人客	13,007	18,777	+ 5,769	18,999	+ 222	22,742	+ 3,742

外国人宿泊客数・比率

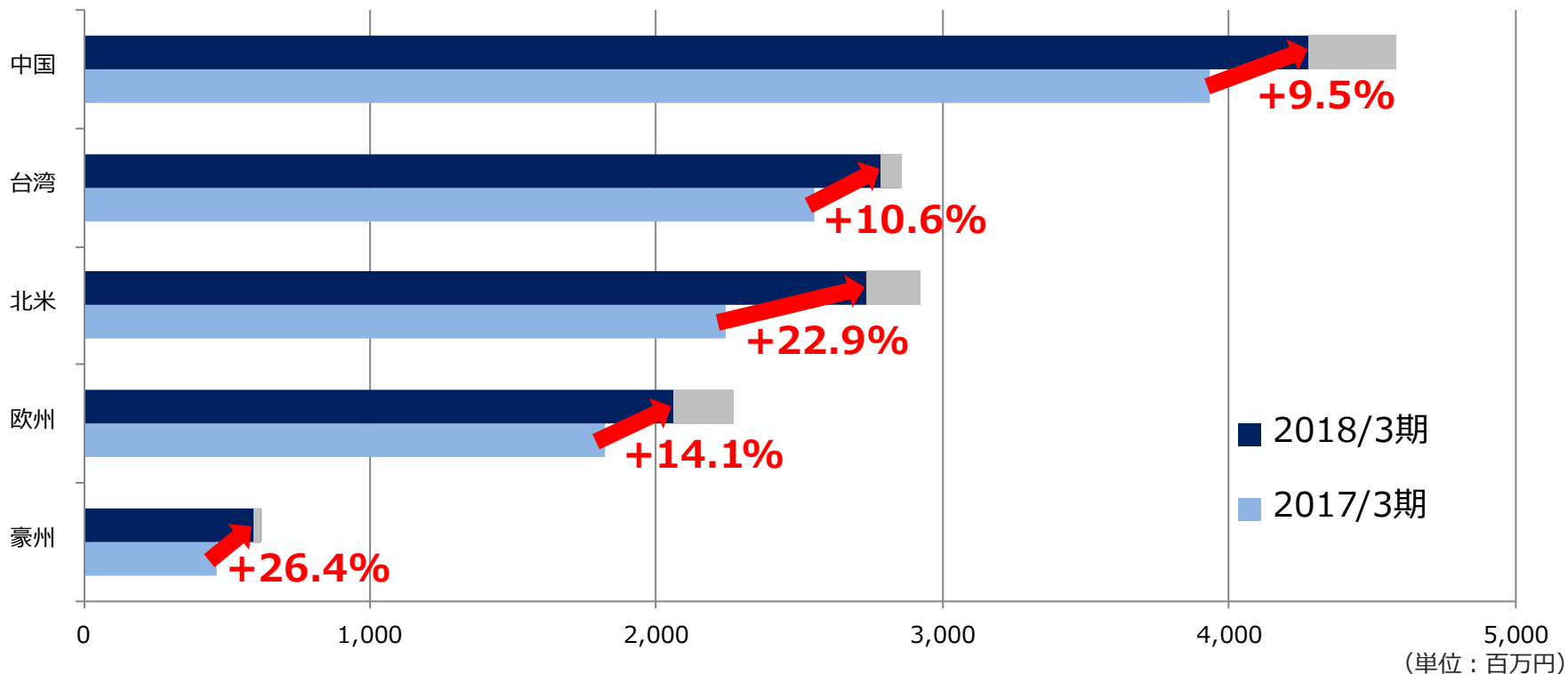


外国人室料収入・比率



ホテル・レジャー事業 マーケットチェンジの状況

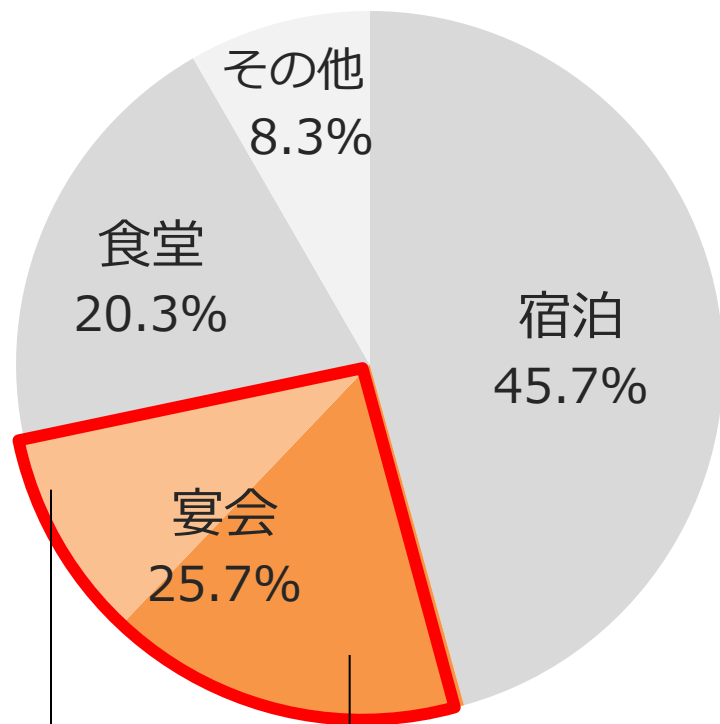
■ 主な国・地域の外国人室料収入 (耐震補強工事にともなう営業休止の影響 (グラフ内の) を除いたベース)



北米、欧州、豪州など、より単価の高い地域が着実に増加

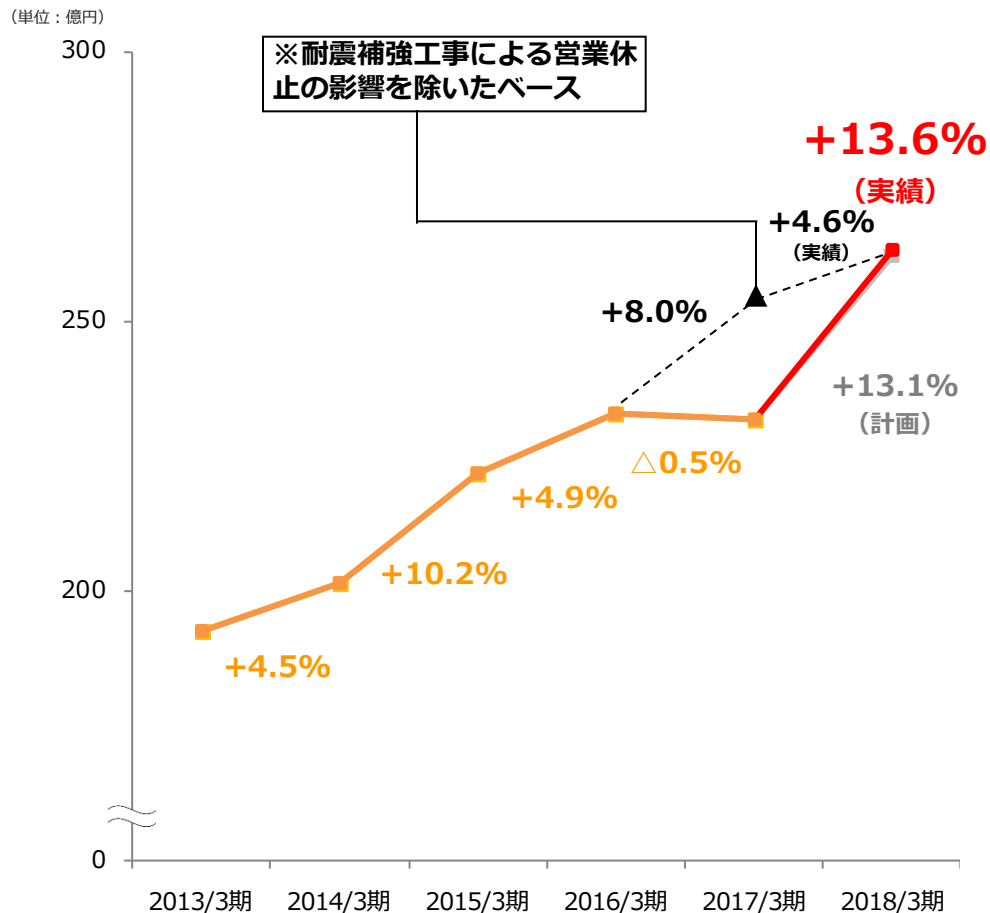
ホテル・レジャー事業 MICEの状況

■ ホテル業の売上高構成比 (2018年3月期)



ブライダル・
その他宴会 9.3% — **MICE 16.4%**

■ MICE売上高の推移



MICE売上高は増加トレンドが継続。企業のミーティング需要を着実に取込んでいるほか、東京プリンスホテル、グランドプリンスホテル高輪の営業再開も寄与。

不動産事業 概況

(金額単位：百万円)

	2017/3期 実績	2018/3期 実績	対前期 (増減額・率)		摘要
営業収益	53,771	62,292	+8,521	+15.8%	
不動産賃貸業	35,447	42,506	+7,059	+19.9%	2016年7月に開業した東京ガーデンテラス紀尾井町の収益寄与や賃貸住宅、軽井沢・プリンスショッピングプラザの好調などにより増収
その他	18,323	19,785	+1,462	+8.0%	西武立川駅前でのマンションの販売により増収
営業利益	7,889	15,818	+7,929	+100.5%	増収による増益に加え、前年同期に東京ガーデンテラス紀尾井町開業にともなう一時的な費用の計上があったことなどにより増益
償却前営業利益	16,201	25,077	+8,876	+54.8%	

(面積：千㎡)

		2015/3期	2016/3期	対前期	2017/3期	対前期	2018/3期	対前期
建物賃貸物件	商業施設	229	234	+5	239	+4	244	+4
の期末貸付面積	オフィス・住宅	60	60	+0	166	+106	172	+5
建物賃貸物件	商業施設	1.1%	1.0%	△ 0.1pt	0.7%	△ 0.3pt	1.1%	+0.4pt
の期末空室率	オフィス・住宅	10.0%	14.0%	+4.0pt	3.1%	△ 10.9pt	1.9%	△ 1.2pt

建設事業 概況

(金額単位：百万円)

	2017/3期 実績	2018/3期 実績	対前期 (増減額・率)		摘要
営業収益	114,996	100,002	△ 14,993	△ 13.0%	
建設業	88,578	74,054	△ 14,524	△ 16.4%	前期に大型工事の進捗・竣工があったことなどにより減収
その他	26,417	25,947	△ 469	△ 1.8%	造園請負工事の減少などにより減収
営業利益	9,825	4,752	△ 5,073	△ 51.6%	減収による減益
償却前営業利益	10,206	5,152	△ 5,054	△ 49.5%	

建設業の受注高の状況

(金額単位：百万円)

	2015/3期	2016/3期	対前期	2017/3期	対前期	2018/3期	対前期
期首繰越高	62,321	84,335	+22,014	99,069	+14,733	89,755	△ 9,313
期中受注高	92,037	94,045	+2,007	79,080	△ 14,964	84,599	+5,518
期末繰越高	84,335	99,069	+14,733	89,755	△ 9,313	100,542	+10,787

ハワイ事業 概況

(金額単位：百万円)

	2017/3期 実績	2018/3期 実績	対前期 (増減額・率)		摘要
営業収益	23,167	15,375	△ 7,792	△ 33.6%	マウナケアビーチホテルが堅調に推移したものの、前期に不動産売却があったことや、為替レートの変動により減収
営業利益	4,250	△ 2,002	△ 6,252	－	前期に不動産売却があったことや、プリンス ウィキキの減収により減益
償却前営業利益	6,044	97	△ 5,947	△ 98.4%	

ホテルの営業指標

	2015/3期	2016/3期	対前期	2017/3期	対前期	2018/3期	対前期
RevPAR (円)	17,136	21,384	+4,248	19,247	△ 2,137	18,465	△ 782
RevPAR (米ドル)	168.00	178.50	+10.50	174.97	△ 3.53	175.86	+0.89
平均販売室料 (円)	23,610	29,146	+5,536	27,815	△ 1,331	30,539	+2,724
平均販売室料 (米ドル)	231.47	243.29	+11.82	252.86	+9.57	290.85	+37.99
客室稼働率	72.6%	73.4%	+0.8pt	69.2%	△ 4.2pt	60.5%	△ 8.7pt

その他 概況

(金額単位：百万円)

	2017/3期 実績	2018/3期 実績	対前期 (増減額・率)		摘要
営業収益	37,228	39,427	+2,198	+5.9%	西武ライオンズにおいて各種営業施策の実施やク ライマックスシリーズへの進出により観客動員数 が増加したことなどにともない増収
営業利益	720	1,048	+327	+45.4%	増収による増益
償却前営業利益	3,366	3,960	+593	+17.6%	

I. エグゼクティブ・サマリー	P2
II. 2018年3月期の主な取り組み	P7
III. セグメント情報及び営業指標	P9
IV. 決算実績詳細	P22
V. 2019年3月期 連結業績予想	P29
VI. 当期・次期の配当	P34

連結損益計算書サマリー

(金額単位：百万円)

	2017/3期	2018/3期	対前期	摘要
営業収益	512,009	530,631	+18,622	都市交通・沿線：+55億円、ホテル・レジャー：+163億円、 不動産：+85億円、建設：△149億円、ハワイ：△77億円、 その他：+21億円
営業利益	62,456	64,259	+1,803	都市交通・沿線：+4億円、ホテル・レジャー：+32億円、 不動産：+79億円、建設：△50億円、ハワイ：△62億円、 その他：+3億円
営業外収益	6,871	3,290	△ 3,581	持分法による投資利益 △37億円
営業外費用	11,856	12,060	+204	
経常利益	57,472	55,490	△ 1,982	
特別利益	9,066	2,156	△ 6,909	固定資産売却益 △34億円 段階取得に係る差益 △15億円
特別損失	8,005	6,695	△ 1,309	
税金等調整前当期純利益	58,533	50,951	△ 7,582	
法人税等	10,898	7,511	△ 3,387	法人税、住民税及び事業税+9億円 法人税等調整額 △43億円 当期：スケジューリング見直し △30億円、税効果分類の変更 △12億円、 米国税制改正による税率変更 △10億円など 前期：税効果分類の変更 △40億円
当期純利益	47,634	43,439	△ 4,194	
非支配株主に帰属する当期純利益	70	531	+461	(株)横浜アリーナの連結子会社化などによる増加
親会社株主に帰属する当期純利益	47,564	42,908	△ 4,656	

2018年5月10日 Copyright © SEIBU HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

営業外・特別損益

(金額単位：百万円)

	2017/3期	2018/3期	対前期	摘要
営業利益	62,456	64,259	+1,803	
営業外収益	6,871	3,290	△ 3,581	
受取利息・配当金	757	888	+130	
バス路線運行維持費補助金	842	901	+59	
持分法による投資利益	3,729	—	△ 3,729	前期：NWコーポレーションが持分法適用関連会社になったことによる計上
その他営業外収益	1,541	1,500	△ 41	
営業外費用	11,856	12,060	+204	
支払利息	10,693	10,595	△ 97	
持分法による投資損失	—	62	+62	
その他営業外費用	1,162	1,402	+240	
経常利益	57,472	55,490	△ 1,982	
特別利益	9,066	2,156	△ 6,909	
固定資産売却益	3,543	123	△ 3,419	前期：土地売却（新杉田）
工事負担金等受入額	2,891	750	△ 2,140	
補助金収入	343	160	△ 183	
投資有価証券売却益	21	144	+122	
受取補償金	—	895	+895	
段階取得に係る差益	1,501	—	△ 1,501	前期：㈱横浜アリーナ連結子会社化による既存保有株式の評価差額
その他特別利益	765	81	△ 683	
特別損失	8,005	6,695	△ 1,309	
減損損失	760	2,076	+1,316	
固定資産売却損	17	165	+147	
固定資産除却損	3,166	2,804	△ 362	
工事負担金等圧縮額	2,739	678	△ 2,060	
固定資産圧縮損	323	145	△ 178	
投資有価証券売却損	0	16	+16	
投資有価証券評価損	0	—	△ 0	
その他特別損失	997	809	△ 188	
税金等調整前当期純利益	58,533	50,951	△ 7,582	

連結貸借対照表サマリー

(金額単位：百万円)

	2017/3期 期末	2018/3期 期末	対前期	摘要
資産 合計	1,627,868	1,671,977	+44,108	
流動資産	126,702	119,709	△ 6,992	受取手形及び売掛金 △4,659 その他 △3,793 (未収還付消費税の入金など)
固定資産	1,501,166	1,552,267	+51,101	有形・無形固定資産 +41,577 投資有価証券 +6,654 繰延税金資産 +2,717
負債 合計	1,267,735	1,277,029	+9,293	
流動負債	366,590	328,782	△ 37,807	短期借入金 △47,107 前受金 +7,916
固定負債	901,144	948,246	+47,101	長期借入金 +40,409 社債 +10,000 鉄道・運輸機構長期未払金 △5,091
純資産 合計	360,133	394,947	+34,814	
自己資本	355,322	389,510	+34,187	利益剰余金 +34,358 その他有価証券評価差額金 +3,435 退職給付に係る調整累計額 △2,536 為替換算調整勘定 △1,482
有利子負債 期末残高	909,104	905,091	△ 4,012	
ネット有利子負債	880,032	875,147	△ 4,885	
自己資本比率	21.8%	23.3%	+1.5pt	
D/Eレシオ (倍)	2.6	2.3	△ 0.3	
ネット有利子負債 / EBITDA倍率 (倍)	8.1	7.6	△ 0.5	

連結キャッシュ・フロー計算書

(金額単位：百万円)

	2017/3期	2018/3期	対前期	摘要
営業活動キャッシュフロー	92,418	103,772	+11,354	償却前営業利益の増加、売上債権や未収入金の減少など
投資活動キャッシュフロー	△ 133,931	△ 88,083	+45,848	
うち有形及び無形固定資産の取得による支出	△ 135,318	△ 91,524	+43,793	前期：東京ガーデンテラス紀尾井町竣工、ホテルの耐震補強工事など
うち有形及び無形固定資産の売却による収入	4,537	601	△ 3,936	
うち工事負担金等受入による収入	6,560	8,865	+2,305	
財務活動キャッシュフロー	48,162	△ 13,549	△ 61,712	借入金の減少など
現金及び現金同等物の期首残高	21,085	27,551	+6,466	
現金及び現金同等物の期末残高	27,551	29,628	+2,076	
フリーキャッシュフロー	△ 41,513	15,689	+57,202	
有利子負債残高	909,104	905,091	△ 4,012	

セグメント別設備投資

(金額単位：百万円)

	2017/3期	2018/3期	対前期	摘要
都市交通・沿線事業	27,342	32,002	+4,660	<ul style="list-style-type: none"> ・中井～野方駅間連続立体交差事業（継続中） ・東村山駅付近連続立体交差事業（継続中） ・40000系車両新造
ホテル・レジャー事業	32,567	23,542	△ 9,025	<ul style="list-style-type: none"> ・大磯プリンスホテル 温泉・スパ施設新設 ・ザ・プリンス パークタワー東京 客室・ロビー改装 ・北海道カントリークラブ クラブハウス新設 ・軽井沢プリンスホテル イースト改装
不動産事業	73,107	27,018	△ 46,089	<ul style="list-style-type: none"> ・グランエミオ所沢 I 期 ・エミリーブ鷺ノ宮 ・（仮称）西武鉄道池袋ビル計画（継続中）
建設事業	441	473	+31	
ハワイ事業	7,453	5,296	△ 2,156	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンス ワイキキ全面改装 ・ハプナビーチプリンスホテル全面改装（継続中）
その他	3,090	4,160	+1,070	<ul style="list-style-type: none"> ・守山駅前近江鉄道ビル「cocotto MORIYAMA」
調整額	△ 5,087	△ 2,590	+2,497	グループ会社間取引の調整
設備投資 合計	138,915	89,903	△ 49,012	

セグメント別減価償却費

(金額単位：百万円)

	2017/3期	2018/3期	対前期	摘要
都市交通・沿線事業	20,684	21,807	+1,122	(株)横浜アリーナの連結子会社化、西武秩父駅前温泉 祭の湯の開業などによる増加
ホテル・レジャー事業	12,876	15,439	+2,563	ホテルのリニューアル実施による増加
不動産事業	8,312	9,259	+947	東京ガーデンテラス紀尾井町、エミリーブ石神井公園の通期稼働などによる増加
建設事業	381	399	+18	
ハワイ事業	1,794	2,099	+305	
その他	2,645	2,912	+266	
調整額	△ 1,036	△ 917	+118	
減価償却費 合計	45,658	51,000	+5,342	

I. エグゼクティブ・サマリー	P2
II. 2018年3月期の主な取り組み	P7
III. セグメント情報及び営業指標	P9
IV. 決算実績詳細	P22
V. 2019年3月期 連結業績予想	P29
VI. 当期・次期の配当	P34

2019年3月期 連結業績予想

(金額単位：億円)

	2018/3期 実績	2019/3期 予想	対前期	2018/3期 2Q実績	2019/3期 2Q予想	対前年同期
営業収益	5,306	5,699	+ 7.4%	2,663	2,826	+ 6.1%
営業利益	642	670	+ 4.3%	378	394	+ 4.1%
償却前営業利益	1,155	1,209	+ 4.6%	626	655	+ 4.6%
経常利益	554	581	+ 4.7%	331	348	+ 4.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	429	436	+ 1.6%	232	262	+ 12.6%

■ 営業収益 5,699億円

都市交通・沿線事業における鉄道運輸収入の増加、ホテル・レジャー事業におけるバリューアップ投資の効果発現やレベニューマネジメントの強化によるRevPARの上昇、不動産事業における東京ガーデンテラス紀尾井町の賃料収入増加や分譲マンションの販売、建設事業における繰越工事の増加、ハワイ事業におけるバリューアップ投資の効果発現などにより増収。

■ 営業利益 670億円

新規事業や大規模再開発、業務改革にかかる経費が増加するものの、増収により増益。

■ 経常利益 581億円

営業利益の増加により増益。

■ 親会社株主に帰属する当期純利益

436億円

2018年3月期に繰延税金資産の計上があったことなどにより、経常利益と比較して増益幅は縮小。

(注) 連結業績予想につきましては、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2019年3月期 連結業績予想

(金額単位：億円)

セグメント別 営業収益	2018/3期 実績	2019/3期 予想	対前期	2018/3期 2Q実績	2019/3期 2Q予想	対前年同期
都市交通・沿線事業	1,620	1,633	+ 0.8%	817	826	+ 1.1%
ホテル・レジャー事業	2,048	2,218	+ 8.3%	1,015	1,108	+ 9.1%
不動産事業	622	673	+ 8.0%	295	314	+ 6.2%
建設事業	1,000	1,095	+ 9.5%	473	475	+ 0.3%
ハワイ事業	153	211	+ 37.2%	79	95	+ 20.2%
その他	394	396	+ 0.4%	239	248	+ 3.7%
調整額	△ 533	△ 527	—	△ 256	△ 240	—

セグメント別 営業利益	2018/3期 実績	2019/3期 予想	対前期	2018/3期 2Q実績	2019/3期 2Q予想	対前年同期
都市交通・沿線事業	272	260	△ 4.6%	173	164	△ 5.5%
ホテル・レジャー事業	172	199	+ 15.0%	88	101	+ 13.9%
不動産事業	158	170	+ 7.5%	76	94	+ 23.2%
建設事業	47	46	△ 3.2%	23	14	△ 40.2%
ハワイ事業	△ 20	0	—	△ 7	△ 3	—
その他	10	0	△ 100.0%	24	21	△ 15.9%
調整額	0	△ 5	—	△ 1	3	—

セグメント別 償却前営業利益	2018/3期 実績	2019/3期 予想	対前期	2018/3期 2Q実績	2019/3期 2Q予想	対前年同期
都市交通・沿線事業	490	477	△ 2.8%	278	269	△ 3.5%
ホテル・レジャー事業	327	362	+ 10.6%	162	181	+ 11.1%
不動産事業	250	270	+ 7.7%	121	143	+ 17.4%
建設事業	51	51	△ 1.0%	25	16	△ 36.6%
ハワイ事業	0	27	—	2	9	+ 246.2%
その他	39	31	△ 21.7%	38	36	△ 7.4%
調整額	△ 5	△ 9	—	△ 4	1	—

2019年3月期 設備投資計画

(金額単位：百万円)

	2018/3期 実績	2019/3期 予想	対前期	摘要
都市交通・沿線事業	32,002	35,300	+3,297	<ul style="list-style-type: none"> ・中井～野方駅間連続立体交差事業（継続中） ・東村山駅付近連続立体交差事業（継続中） ・新型特急車両
ホテル・レジャー事業	23,542	22,000	△1,542	<ul style="list-style-type: none"> ・サンシャインシティプリンスホテル 客室改装 ・品川プリンスホテル アネックスタワー 客室改装 ・グランドプリンスホテル新高輪 客室改装
不動産事業	27,018	31,100	+4,081	<ul style="list-style-type: none"> ・（仮称）西武鉄道池袋ビル計画（継続中） ・グランエミオ所沢Ⅱ期（継続中） ・（仮称）東長崎駅南口計画
建設事業	473	600	+126	
ハワイ事業	5,296	4,200	△1,096	<ul style="list-style-type: none"> ・ハプナビーチプリンスホテル全面改装（継続中）
その他	4,160	5,400	+1,239	<ul style="list-style-type: none"> ・メットライフドームエリア改修
戦略投資枠	—	15,000	+15,000	
調整額	△2,590	2,600	+5,190	
設備投資 合計	89,903	116,200	+26,296	

2019年3月期 鉄道業 営業指標予想

(人員単位：千人、金額単位：百万円)

鉄道業 (西武鉄道株式会社)		2018/3期	2019/3期 予想	対前期
輸送人員	定期	412,680	416,388	+0.9%
	定期外	245,969	247,459	+0.6%
	計	658,650	663,847	+0.8%
旅客運輸収入	定期	45,137	45,691	+1.2%
	定期外	54,211	55,100	+1.6%
	計	99,348	100,792	+1.5%

I. エグゼクティブ・サマリー	P2
II. 2018年3月期の主な取り組み	P7
III. セグメント情報及び営業指標	P9
IV. 決算実績詳細	P22
V. 2019年3月期 連結業績予想	P29
VI. 当期・次期の配当	P34

当期・次期の配当

安定した配当を継続的に実施（配当性向15%目安）

(金額単位：円)

